残席わずか

大規模システム再構築の勝利のセオリー【オンラインライブ】（4125103）

老朽化した企業システムの再構築が急務となっていますが、大規模システム再構築の失敗事例が後を絶ちません。大規模密結合システムの限界が見えてきた今日、企業システムは疎結合アーキテクチャへの転換が求められています。リスクを最小化しつつ段階的にアーキテクチャの転換を図る実践的再構築手法について学んでいきます。

開催日時	2026年1月29日(木) 9:00-16:00ライブ配信
JUAS研修分類	ITアーキテクト・システム企画・IT基盤(レガシーシステム再構築)
カテゴリー	IT基盤構築・維持・管理 専門スキル
講師	中山嘉之 氏 （株式会社アイ・ティ・イノベーション プリンシパルコンサルタント、元 協和発酵キリン（現：協和キリン）情報システム部長 ） 1982年より協和発酵工業（現・協和キリン）の情報システム部にてDBモデラー兼PMを務める。2005年からシステム部長とアーキテクトの2足のわらじを履き、2010年「エンタープライズ・データHUB」を完成。2013年よりアイ・ティ・イノベーションのコンサルタントに転じ、数多くのユーザ企業のITアーキテクチャの設計に携わる。2023年「エンタープライズアーキテクチャのセオリー」を執筆。
参加費	ＪＵＡＳ会員/ITC：35,200円 一般：45,100円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信（指定会場はありません）
対象	・基幹系システムの再構築を検討されている方、悩まれている方 ・度重なるシステム改修でシステムがカオスになってお困りの方 ・自社のシステムの今後のアーキテクチャ策定に悩まれている方 ・ユーザー企業情報システム部門の次世代像に興味のある方 ・上記に関心のあるユーザー企業IT企画担当、SIベンダー担当者 中級
開催形式	講義・個人演習
定員	30名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態
ライブ配信（Zoomミーティング）【セミナーのオンライン受講について 】
■テキスト
開催７日前を目途にマイページ掲載
■開催日までの課題事項
特になし

1　今後の企業システムの課題
・これからの企業システムへの要請
・エンタープライズはどこへ向かうか
・大規模システム再構築の課題
・大規模システム再構築の手法
・”メープルシロップ型“とは
・エンタープライズ・データモデリング

2　都市計画型による再構築
・アーキテクチャ不在のスパゲッティ＆サイロ化
・データ連携におけるピアtoピア、データHUB経由
・データ中心エンタープライズアーキテクチャ
・データHUBの設計手順

・マスター・データHUB
・システム間トランザクションはI/Fを標準化
・トランザクション・データHUB
・トランザクション・レコードの汎化例

３ リポジトリーを活用したシステムのホワイトBOX化
・REPOSITORYの重要性
・HUB実装REPOSITORY
・セントラルREPOSITORY
・セントラルREPOSITORYのメタデータモデル

４ 再構築の過程における緩やかなアーキテクチャ転換
・AMO（Architecture Management Office）の設置
・段階を踏んだモダナイゼーションのシナリオ
・MDHによるマスター元管理環境の実現
・ダウンサイズ時のマスタHUBの役割
・TDHによるトランザクション一元管理環境の実現
・データHUBでの新旧コード、フォーマット変換
・データHUBによるクラウド統合
・エンタープライズ疎結合アプリMAP（最終形）

＜受講者の声＞
・大規模開発しかり情報システム部門のこれからの課題やどんなところに着目するべきかの勘所が分かり
とても有意義なものになった。
・大規模システムの再構築という難易度の高いテーマだったが、理想論に終始することなく、具体的な解決策の
導き出し方にも踏み込んで解説、質問応対をしていただけたので、とても参考になった。